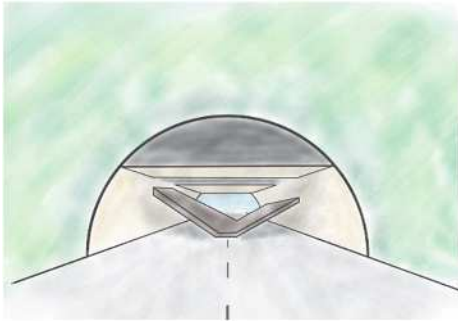


八王子市の公共施設マネジメント



令和3年(2021年)7月11日(日)
八王子市 資産管理課

公共施設の事故が社会的な問題になっている



山梨県笹子トンネルの天井板崩落事故



埼玉県内プールの吸水口吸い込まれ事故



東京都九段会館の天井板崩落事故



1年間にどれくらいの面積の公共施設を整備したか

整備延床面積 (m²)

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0

第1の山

55,000m²/年

人口(人)

600,000

500,000

400,000

300,000

200,000

100,000

0

第2の山?

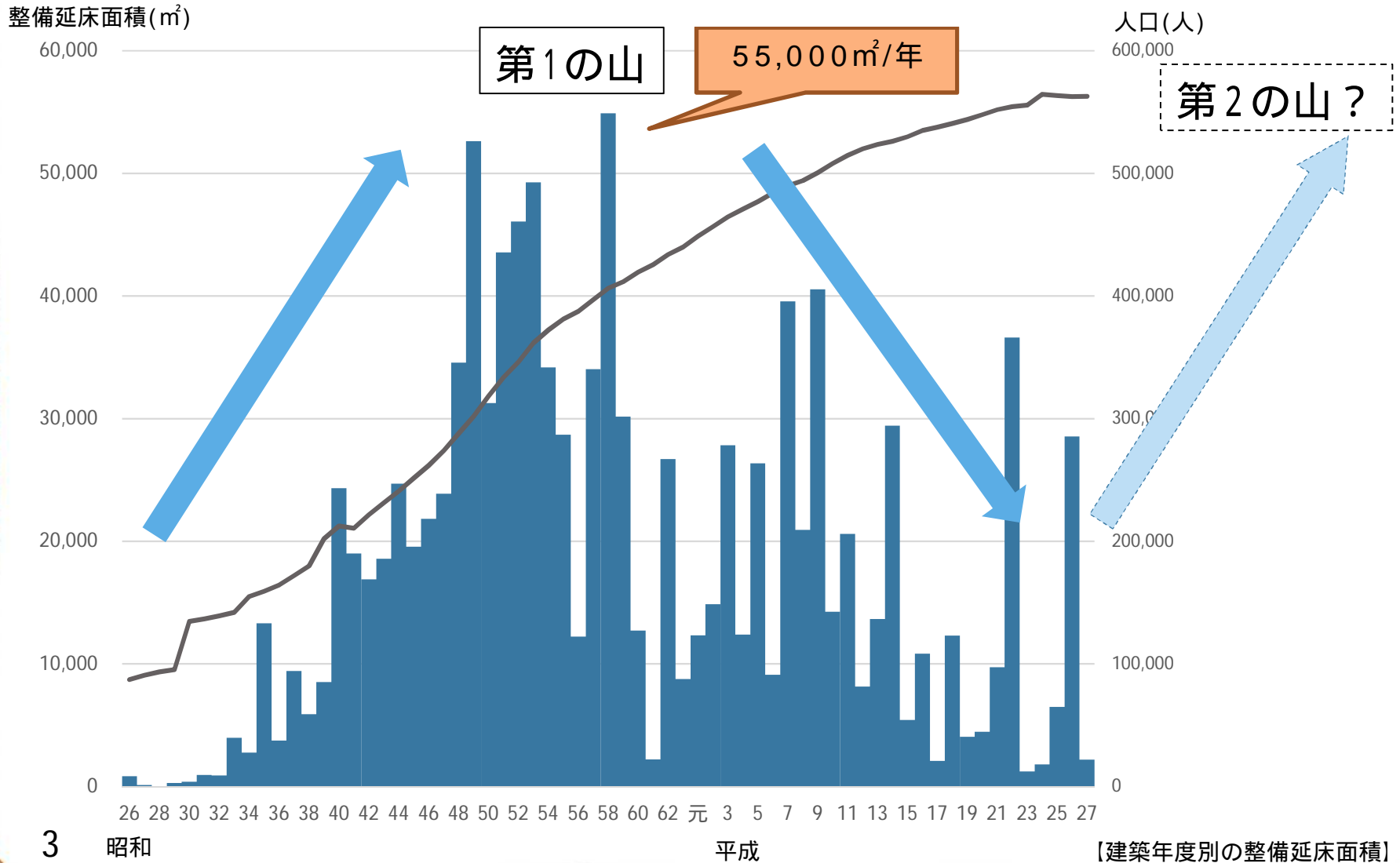
26 28 30 32 34 36 38 40 42 44 46 48 50 52 54 56 58 60 62 元 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27

3

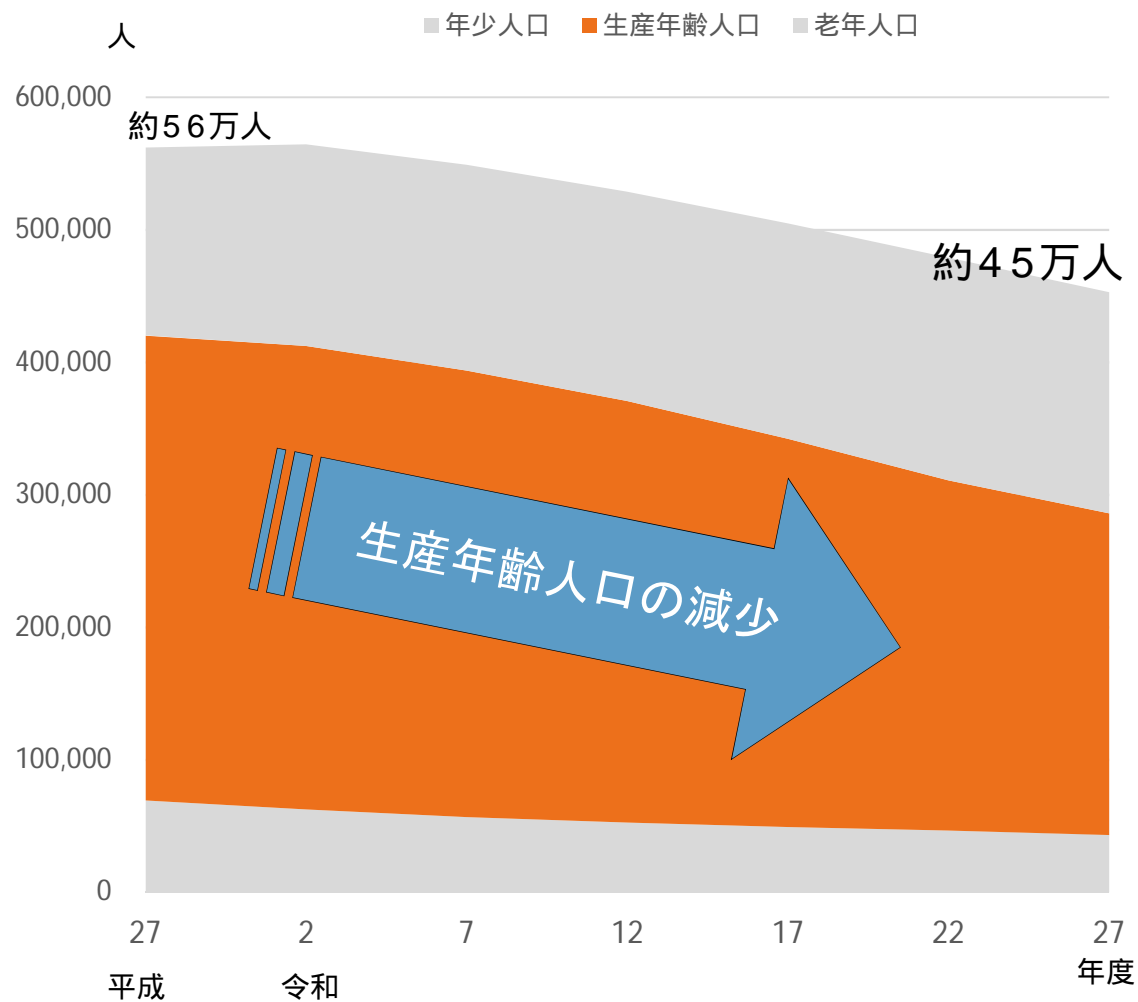
昭和

平成

【建築年度別の整備延床面積】



30年後の八王子市の人口は

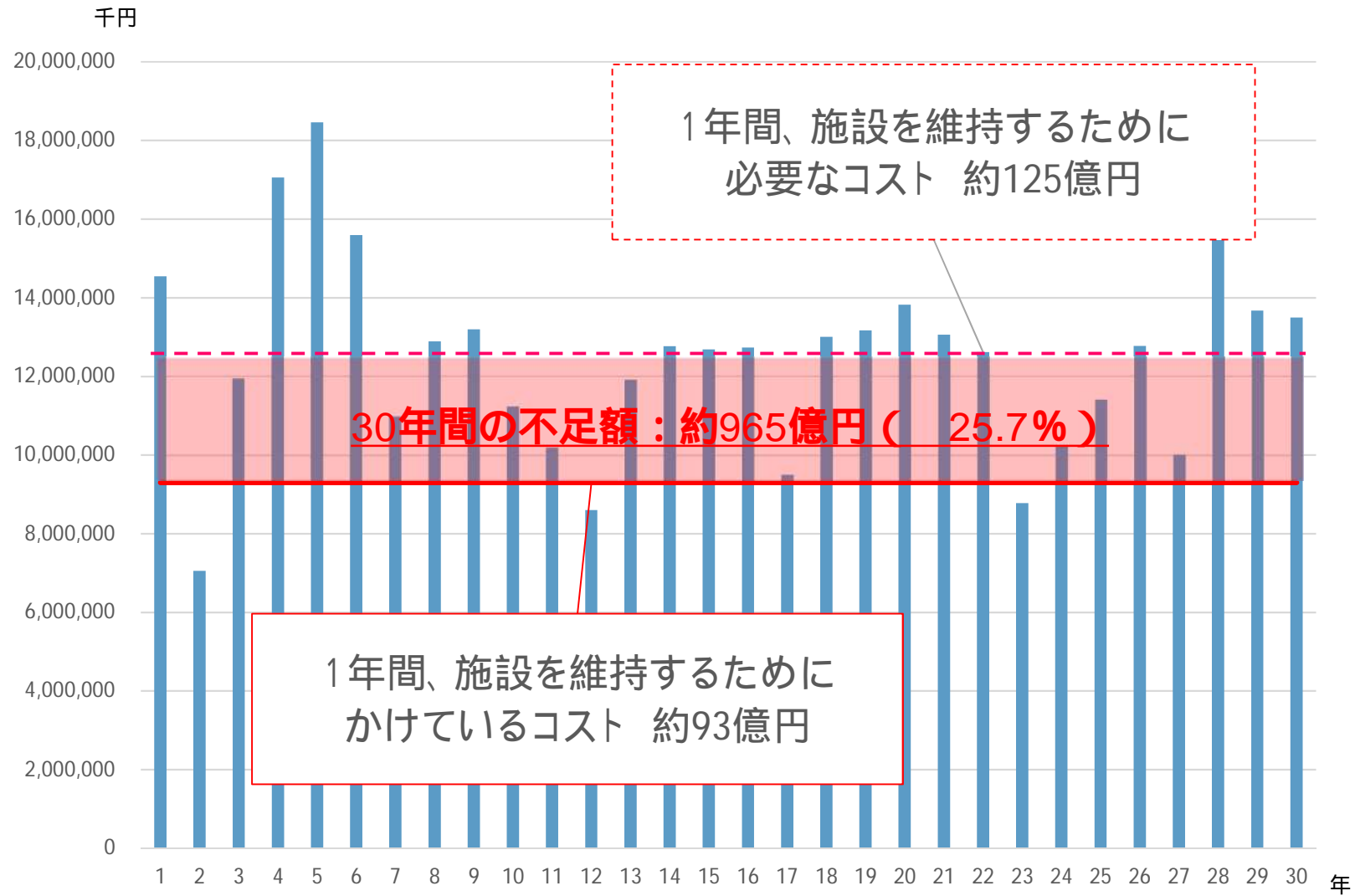


人口は **減**
56万人 45万人

高齢化率は **増**
25.0% 36.9%

税収は **減**

施設の維持管理にかけられるコストは



人口減少・超高齢社会



税込減

…使えるお金が減る



社会保障関係費の増

…必要な経費が増える

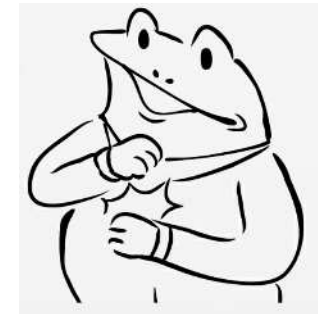
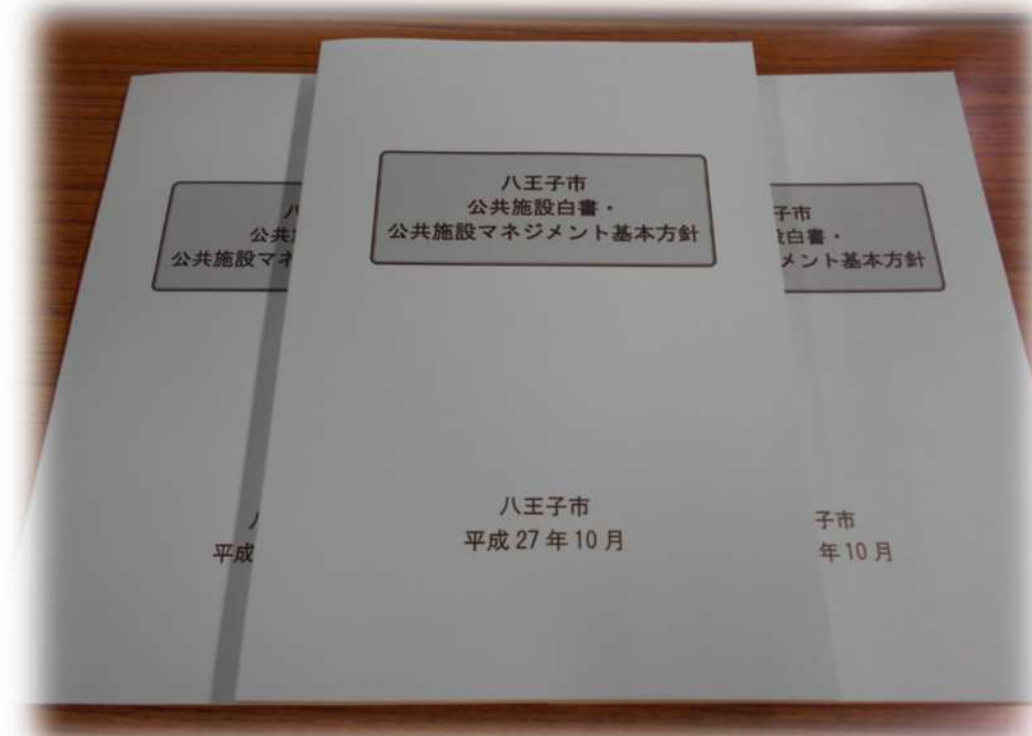
公共施設の維持、更新に
かけられる費用が少なくなる

公共施設更新問題

事故のリスク



八王子市公共施設マネジメント基本方針



市民の皆さまと一緒に考えて、公共施設を
‘賢く’管理していきましょう！

基本理念

1

市民等との協働を進め、地域力を活かした施設の活用を推進

6

全庁的な推進体制の整備

5

公平な利用機会の確保

2

安全・安心の確保とライフサイクルコストの縮減

3

機能移転・統合によりサービスを充実

4

公民連携を進め、地域や民間へ移譲

八王子市公共施設マネジメント基本方針

八王子市公共施設マネジメント推進計画

3つの目標

- 1 人口に合わせた施設の適正配置
- 2 市民1人当たり2.03m²の維持
- 3 人口に合わせた施設総量の適正化

1 人口に合わせた施設の適正配置

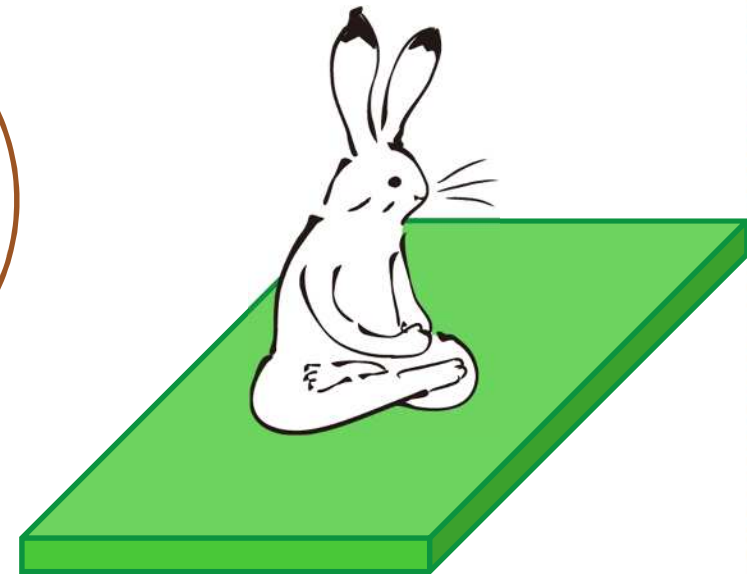
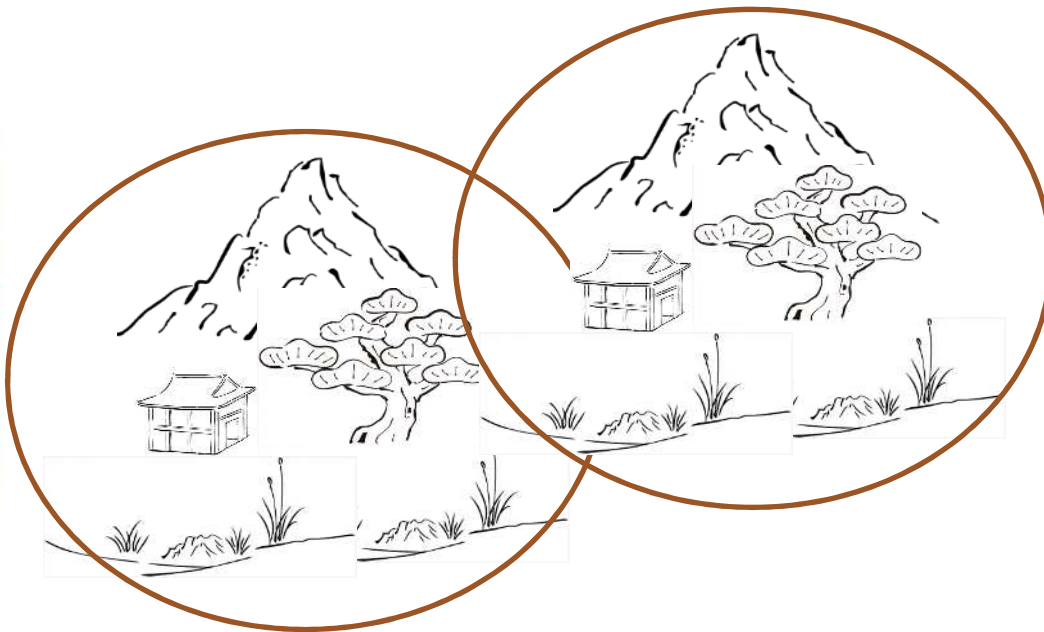
適正配置の例



2 市民1人当たり2.03㎡の維持

延床面積 約114万㎡

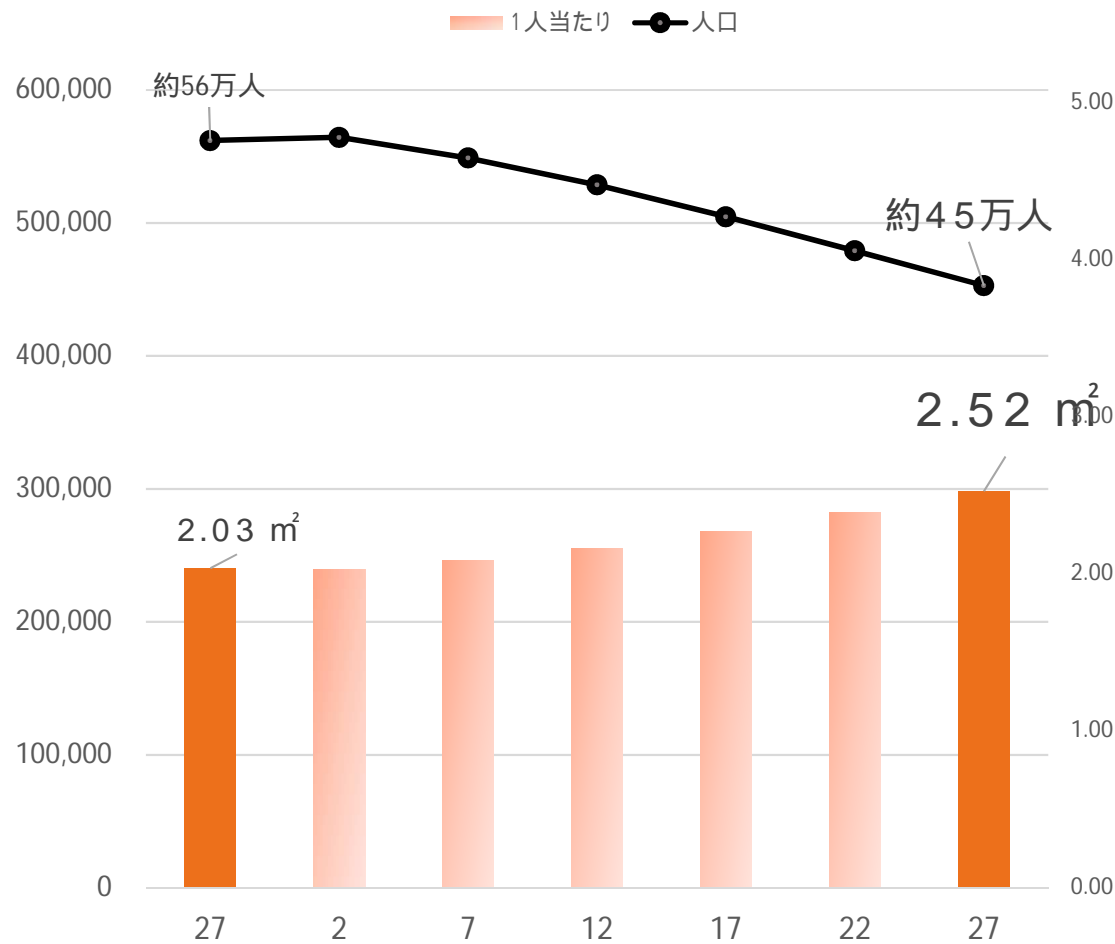
市民1人当たり 2.03㎡



東京ディズニーランド2園分

たたみ約1畳(1.3畳)分

3 人口に合わせた施設総量の適正化



新たな施設を建てなくても、人口が減ると、市民1人当たりの延床面積は増えていく。

1人当たり2.03 m²を維持するためには、施設総量を減らしていく必要がある。

将来イメージ

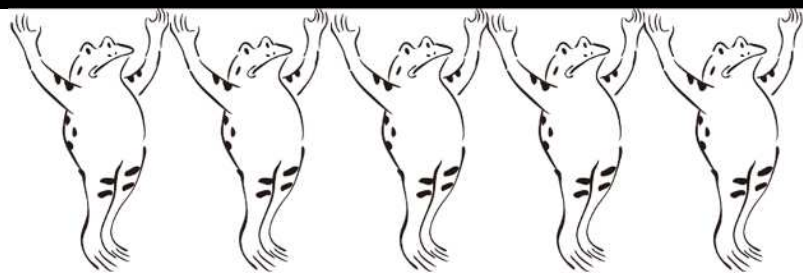
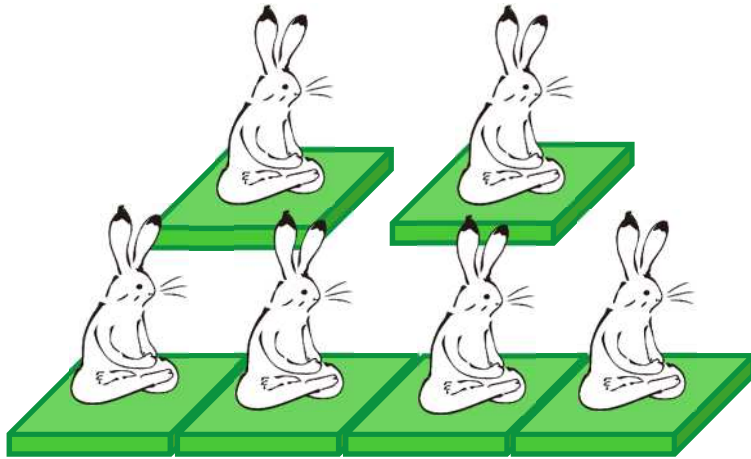
1人当たり面積が 2.03m^2 が 2.52m^2 になるということは…



八王子市内に学校が約50校分増えることと同じ

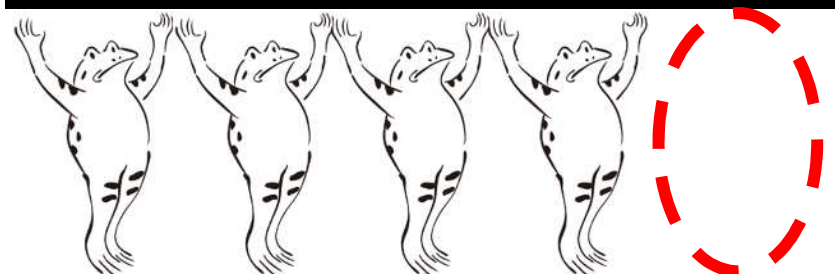
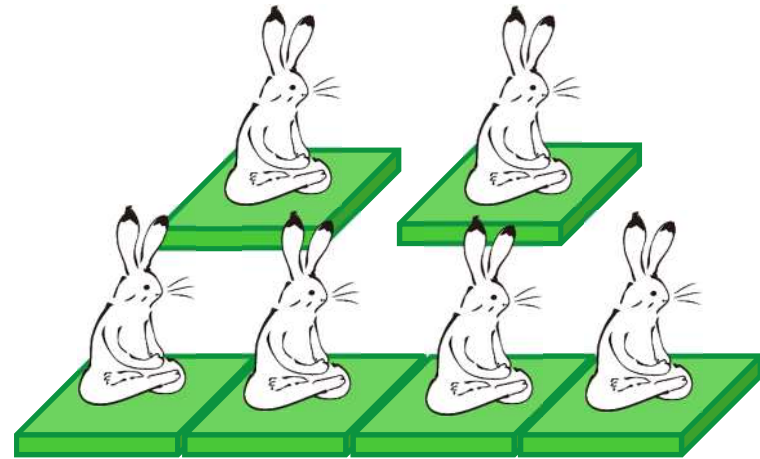
将来イメージ

現状 (1人当たり2.03m²)



5人でたたみ6枚を支える

将来 (1人当たり2.52m²)

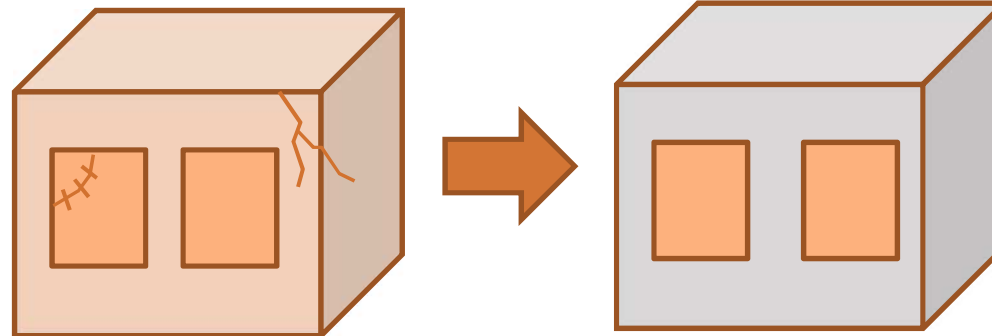


4人でたたみ6枚を支える

- 人口に合わせた施設の適正配置
- 市民1人当たり2.03㎡の維持
- 人口に合わせた施設総量の適正化

具体的な手法

長寿命化



鉄筋コンクリート造の事務所
法定耐用年数50年

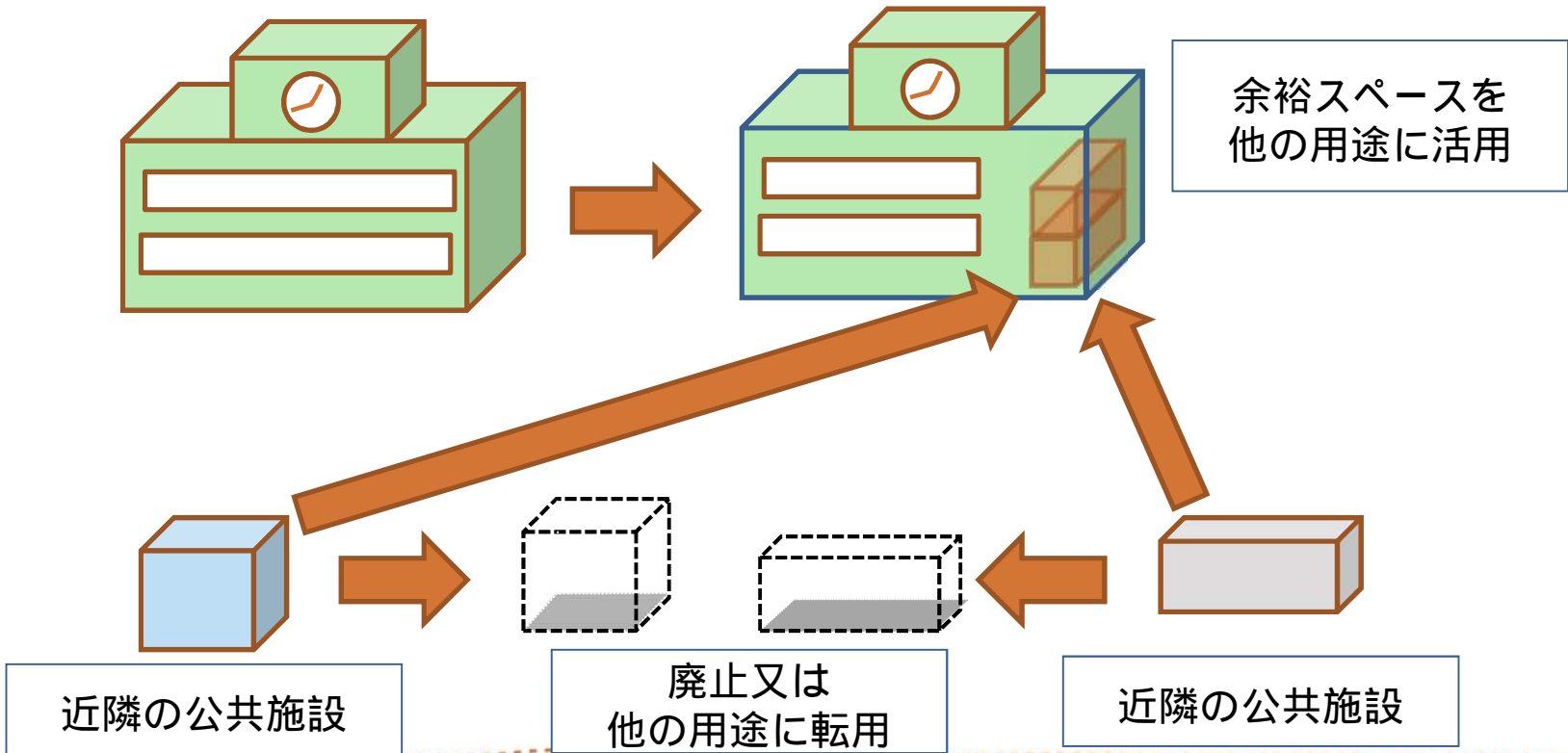
計画的な予防保全により目標
耐用年数を25年長い75年に

- 人口に合わせた施設の適正配置
- 市民1人当たり2.03㎡の維持
- 人口に合わせた施設総量の適正化

具体的な手法

施設の複合化

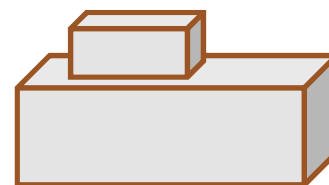
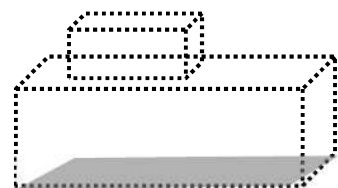
例えば学校の複合化のイメージ



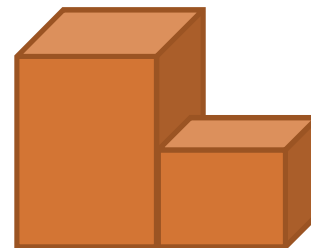
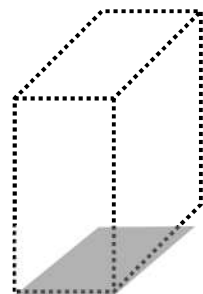
- 人口に合わせた施設の適正配置
- 市民1人当たり2.03㎡の維持
- 人口に合わせた施設総量の適正化

具体的な手法

民間へ移譲 民間施設の利用



民間へ移譲



民間の施設を利用

「ねえ、ボクのぶんは…?」



知っていますか？

子どもたちが将来使う資源を、私たちが「いま」使っていることを。このままの暮らしでは、地球ひとつだと足りません。未来のぶんのエネルギーや食料が心配です。

“地球にちょうどいい暮らし”をはじめませんか。

人と自然の未来を守るWWFにご協力ください。WWF



ACジャパン支援キャンペーン